

自己改革とは…？

教えて！

石黒組合長

自己改革
とは…？

Vol.1



石黒 秀一
代表理事組合長

昨年度はJAや組合員が行う協同活動について、組合員だからこそ、知っていただき、共に活動していくために連載をいたしました。今年度はJAあいち尾東が組合員の皆様とともに行う「自己改革」について解説し、ご意見・ご要望をいただいています。ぐりんぷらざ裏面のハガキやホームページから組合員の皆様のご意見・ご要望をぜひお聞かせください。

自己改革の取り組みとは…？

農業者の所得増大をはじめとする地域農業の持続的発展や、総合事業による組合員の豊かなくらしづくりへ向けて、当組合では中期計画及び事業計画を「自己改革」として位置づけて取り組んでいます。

中期計画とは…？

第7次中期3か年計画では、令和3年度からの3年間、「未来につなぐ農と協同」をメインテーマに、農・人・地域をつなぐ活動を通じて地域農業の振興、JA理解の醸成など組合員とJAの関係性をより一層深める取り組みを実施していきます。

そして、これまでの取り組みや思いを継承し、将来にわたって組合員の皆様から求められ続けるために、組合員との関係強化や組織基盤の強化を地域、組合員の皆様とともにすすめ、未来につないでいきます。

第7次中期3か年計画の基本方針

実践1 魅力ある地域農業の実現

出向く営農活動



営農職員が産直出荷者等の圃場へ出向き、栽培出荷計画の提案等を行い、出荷量の増大に向けて取り組んでいます。

実践2 期待に応える事業活動の進展

各種無料相談会の実施



組合員の皆様から安心して信頼いただける資産相談の取り組みとして、年金相談・税務相談など各種相談会を無料で開催しています。また毎月第2土曜日に開催している「JAバンク・JA共済休日相談会」では、各種ローンや共済に加えて資産運用に関する相談にお答えします。

実践3 協同活動を基点とした組織力の発揮

准組合員モニターを始めとした意思反映の機会づくり

准組合員の皆様に当組合の事業や組合員とともに行う協同活動を体験いただき地域農業を応援する意識を持っていただくこと、准組合員の視点から事業や運営に関する意見・要望を聴き、意思反映に取り組むことを目的として実施しています。



新規就農者育成に向けた取り組み



女性のアグリスクールの取り組みを通じ、栽培から出荷まで一貫して指導を行い、新たな産直出荷者育成に向け、取り組んでいます。アグリスクール卒業生に対しては、出向く営農活動により継続的に指導を実施しています。

組合員の集いを始めとした組合員の学習と意思反映の機会づくり

組合員の皆様に協同組合や協同活動の意義・役割等を学習する機会を通じて、理解いただき、更なる協同活動への参加・参画と意思反映を目的に取り組んでいます。



次月から自己改革の取組成果を掲載していきます。